

墨田川 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科: 外国語

科目: 論理・表現Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教材: ( Vision Quest 24Grammar, Vision Quest 24Grammar Workbook, Ultimaded VQ, UpGrade英文法・語法問題完全演習)

教科 外国語

の目標:

- 【知識及び技能】 日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを標準的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを標準的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、また意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して話し、伝えることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを標準的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、また意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

科目 論理・表現Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能(話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりした内容を活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 仮定法 【知識及び技能】 仮定法の様々な形式を含む英文を読んで理解し、表現したい内容に応じて使い分ける。 【思考力、判断力、表現力等】 後悔や弁解、願望などを仮定法を用いて述べるができる。 【学びに向かう力、人間性等】 後悔や弁解、願望などを、仮定法を用いて伝える様々な表現を学ぶ。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 Vision Quest New English Grammar 24	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	5
	B 否定 【知識及び技能】 様々な否定表現を理解し、学んだ表現を使用して話したり書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 全否定・部分否定・準否定・二重否定等を用いて考えを述べるができる。 【学びに向かう力、人間性等】 全否定・部分否定・準否定・二重否定等を用いた様々な表現を学ぶ。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 Vision Quest New English Grammar 24	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	5
	第1回定期考査			○	○		1
	C 無生物主語・名詞構文 【知識及び技能】 動詞や形容詞を名詞にして、文に等しい内容をその名詞を中心に表せるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 人や動物以外の無生物を主語にした表現方法を使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 動詞や形容詞を名詞にして表現する方法や、無生物を主語にした表現方法を学ぶ。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 Vision Quest New English Grammar 24	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	4
	D 時制 【知識及び技能】 これまでに学んだ時制の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在・過去・未来の完了形概念を理解し、それぞれの用法を区別して様々な表現を用いて尋ねたり伝えたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な時制を使用して文を作ったり表現する方法を学ぶ。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 UPGRADE英文法・語法問題	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	4
	E 助動詞 【知識及び技能】 これまでに学んだ助動詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な助動詞を使用して文を作ったり表現する方法を学ぶ。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 UPGRADE英文法・語法問題	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	4
	第2回定期考査			○	○		1

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>F 仮定法</b> <b>【知識及び技能】</b> これまでに学んだ仮定法の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを表現できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 仮定法を使用した適切な表現方法を学ぶ。	<b>・指導事項：</b> パワーポイントを使用し説明 <b>・副教材</b> UPGRADE英文法・語法問題	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				4
<b>G 態</b> <b>【知識及び技能】</b> これまでに学んだ態の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> by以外の前置詞と結びつく受動態・群動詞の受動態・完了形の受動態を適切に用いて表現できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> by以外の前置詞と結びつく受動態・群動詞の受動態・完了形の受動態の適切な使用方法を学ぶ。	<b>・指導事項：</b> パワーポイントを使用し説明 <b>・副教材</b> UPGRADE英文法・語法問題	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				4
<b>H 不定詞</b> <b>【知識及び技能】</b> これまでに学んだ不定詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 形式主語構文意味上の主語を正しく理解し、使用できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 不定詞を使用した適切な表現方法を学ぶ。	<b>・指導事項：</b> パワーポイントを使用し説明 <b>・副教材</b> UPGRADE英文法・語法問題	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				3
<b>I 動名詞・不定詞</b> <b>【知識及び技能】</b> これまでに学んだ動名詞や不定詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 動名詞と不定詞で意味が違う動詞に気を付けて表現できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 動名詞と不定詞の違いを理解し、適切に表現する方法を学ぶ。	<b>・指導事項：</b> パワーポイントを使用し説明 <b>・副教材</b> UPGRADE英文法・語法問題	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				3
<b>J 分詞</b> <b>【知識及び技能】</b> これまでに学んだ分詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 分詞の用法を理解し、適切に表現する方法を学ぶ。	<b>・指導事項：</b> パワーポイントを使用し説明 <b>・副教材</b> UPGRADE英文法・語法問題	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				3
<b>第3回定期考査</b>			○	○		1
<b>K 関係詞</b> <b>【知識及び技能】</b> これまでに学んだ関係詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の表現ができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約をする表現を学ぶ。	<b>・指導事項：</b> パワーポイントを使用し説明 <b>・副教材</b> UPGRADE英文法・語法問題	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				5
<b>L 疑問文</b> <b>【知識及び技能】</b> これまでに学んだ疑問文の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> howとwhatの適切な使用場面を理解し、表現できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> howとwhatの違いを理解し、疑問詞を用いた慣用表現を学ぶ。	<b>・指導事項：</b> パワーポイントを使用し説明 <b>・副教材</b> UPGRADE英文法・語法問題	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				3

後

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
期	M 比較 【知識及び技能】 これまでに学んだ比較の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 最上級の言い換えや、熟語的な表現を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 UPGRADE英文法・語法問題	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の学習にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				5
	N 否定 【知識及び技能】 これまでに学んだ否定の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 否定語句を用いない否定表現を理解し、使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 否定の様々な形式を含む英文を読んで理解し、表現したい内容に応じて使い分ける	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 UPGRADE英文法・語法問題	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の学習にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				3
	第4回定期考査			○	○		1
	O 倒置・省略・代用・強調・主語と動詞の呼応 【知識及び技能】 これまでに学んだ文法の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 初めて見る文や表現したことのない内容を、様々な文法的な知識と形を使って読み取り、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ文法的な知識を組み合わせることで表現できる。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 UPGRADE英文法・語法問題	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の学習にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				5
	P 動詞の語法 【知識及び技能】 これまでに学んだ動詞の語法の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 形の似ている動詞の自動詞・他動詞を区別し、適切に使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 紛らわしい表現に注意し、適切な語法を用いて表現する方法を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 UPGRADE英文法・語法問題	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の学習にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				7
	Q 名詞の語法 【知識及び技能】 これまでに学んだ名詞の語法の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不可算名詞を理解し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 不可算名詞を適切に使用できる。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 UPGRADE英文法・語法問題	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の学習にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				3
	R 代名詞の語法 【知識及び技能】 これまでに学んだ代名詞の語法の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 other/the other/another/othersを理解し、適切に使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 other/the other/another/othersなど紛らわしい語法を理解し、適切に使用することができる。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 UPGRADE英文法・語法問題	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとめりにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の学習にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				3
第5回定期考査			○	○		1	